

活力に満ちた うるおいとやすらぎのまちを目指して！

平成21年度主要施策の概要

▼耐震性貯水槽設置工事費 2,260万円

▼消防団車庫新築・解体工事費 780万円

安心して暮らせる地域づくりを積極的に進めます。いつ起きても不思議ではないとされる「南関東直下型地震」をはじめ、台風や集中豪雨などの自然災害から市民の生命・財産を守ることは、行政の最も基本的な役割の一つです。平成20年度は、防災行政無線から緊急放送される全国瞬時警報システムを整備し、また全職員を対象に防災訓練を実施するなど、防災体制の強化を図ってきましたが、さらなる強化のため、消防団施設などの更新や消防水利の整備も計画的に実施していきます。

▼防犯灯新設・移設工事費 139万5千円

▼防犯灯光熱水費 2,200万円

みらい平駅前の交番設置ならびに小絹地区の駐在所移設については、平成21年度に実施される見通しとなりました。「安心して暮らせるまちづくり」が飛躍的に進展するものと期待しています。

やさしさとやすらぎが あふれるまちづくり

（保健・医療・福祉の充実）

▼予防接種委託料 4,315万円

▼健康診査・がん検診事業 3,258万9千円

▼乳幼児健康診査事業 472万5千円

▼生活習慣病予防事業 75万8千円

平成21年2月現在、市の高齢化率は21.1%となり、前年に比べ約1%上昇しています。年々高まる高齢化や医療費の増加に対応するため、保健福祉センターを核として、健康診断ならびに健康増進事業を推進していきます。

▼介護保険特別会計繰出金 2億8,666万4千円

高齢者福祉においては、平成21年度から始まる第4期介護保険事業計画および老人福祉計画に基づく地域密着型介護サービスを推進し、高齢者が要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた自宅や地域での生活ができるよう支援します。

▼妊婦・乳児医療機関健康診査事業 3,979万8千円

▼新生児訪問事業 123万2千円

▼児童クラブ事業費 3,723万6千円

▼市内民間保育所運営費補助金 1億3,309万7千円

少子化対策として、安全で安心な出産をしていただくため、この2月から14回に拡充した妊婦健康診査への公費助成を継続するとともに、新生児家庭を訪問し育児不安の緩和を図ります。

また、新たに小張小学校に放課後児童クラブを開設するなど、仕事などで放課後保育できない保護者の方の子育て支援と、子供たちの健全育成を図ります。

みんなを結び みらいのまちづくり

（都市基盤の整備）

▼道路体系整備計画書策定業務委託 247万8千円

▼都市計画マスタープラン策定業務委託料 675万7千円

平成20年度から検討を進めている、まちづくりの指針となる「都市計画マスタープラン」、都市基盤の骨格となる道路体系の整備計画を策定します。

▼循環バス運行事業補助金 2,369万5千円

公共交通については、昨年、コミュニティバスの運営について、市民の皆さまのご意見を伺い、検討委員会においてルートなどの見直しを検討しています。今後は検討委員会の意見を基に、より効率的かつ効果的なルートに変更していきます。

▼豊体横町下宿線整備事業 1億6,122万9千円

▼小張バイパス整備事業 3,279万7千円

▼都市計画道路東櫛戸台線整備事業 4,022万8千円

▼伊奈・谷和原丘陵部一体型特定土地区画整理事業負担金 1億9,000万円

つくばエクスプレスが開通して3年半を経過し、駅周辺の開発に伴い人口も合併時と比較して約2,500人の増加、率にすると6.2%の伸びとなります。引き続き駅周辺開発の促進を図り、人口の定着とまちの賑わいを図ります。

合併特例債事業として整備を進めている豊体横町下宿線については、一層の事業推進を図ります。また、既に事業着手済みおよび着手予定の合併特例債事業については、将来にわたる市の財政状況を十分に検証し、今後、事業規模および事業計画年次の見直しを含めた検討を行います。

うるおいのある快適で 安心なまちづくり

（生活環境の整備）

▼ごみ収集運搬委託料 1億1,811万1千円

▼常総衛生組合負担金 1億5,289万8千円

▼常総地方広域市町村圏事務組合負担金 3億3,858万9千円

低炭素社会の実現のため、グリーンカーテン（つる性植物）を市庁舎に施すとともに、地球温暖化防止対策とごみ減量化対策の一環として、レジ袋の無料配布中止を市内の商店に協力をいただき実施していきます。

▼公共下水道事業特別会計繰出金 4億1,807万5千円

▼農業集落排水事業特別会計繰出金 2億105万7千円

住環境問題については、平成21年度より三島地区農集排水事業に着手し、住環境の向上と公共水域の水質保全を図ります。